

○ 農村女性起業化の取組

近年、消費者の安全・安心な食品や食育への関心の高まり、癒しやあこがれなど都市部の住民が農村へ寄せる期待が多様化する中、地域の農産物を活用した加工品づくりや、直売所での販売、農家レストランなど、農村の女性たちによる起業活動が受け皿として大きな役割を果たしている。

十勝管内では、平成25年3月末現在47の女性グループや個人が、消費者とのふれあいや生きがいを求め、ニーズに合った農産物や加工品の研究・販売など、工夫しながら起業活動に取り組んでいる。

農村女性起業家グループの取組事例

グループ名	市町村	取組概要
季節のたより	音更町	「消費者に喜んでもらえる新鮮な野菜と丈夫な花・野菜の苗物提供」 春と秋の2日間は対面販売「ふれあいセール」を実施。 元気な母さんが主役の地域ファンづくりを目指している。
かあちゃん・ばーちゃんの野菜市	上士幌町	「金もうけ目的ではなく、心を伝える事を大切に、生き甲斐につなげよう」を合い言葉に直売活動を実施。
JA新得町女性部 パレットの会	新得町	新得産の食材を資源に添加物はバニラエッセンスのみ使用するなど原材料にこだわった10種類のアイスクリームを商品化。 町内イベントなどで販売し、消費者との積極的な対面交流が行われている。 平成16年度「全国農産漁村女性チャレンジ活動表彰」で優良賞を受賞。
ポテトサークル	新得町	平成12年に菓子製造業許可を取得し、新得産にんじんを使ったニンジンケーキやシフォンケーキ等3品を製品化、町内イベント等で販売。 また、新得産大豆を使用した味噌を製造、平成19年には味噌製造業許可を取得。 平成19年度「農産漁村いきいきシニア活動表彰」（全国）で奨励賞を受賞。
味彩グループ	芽室町	原料にこだわり十勝産大豆、ホクシン小麦で香りとうまみのある味噌を製造し、芽室町のAコープ、ファーマーズマーケットで販売している。 子供たちに食べさせたいと「げんきみそ」と命名。給食センターにも供給して、大変好評を得ている。
(株)あんてい〜	中札内村	道の駅直売所「花水山」を異業種の会員と運営し、自家産の野菜や加工品を販売している。 また、村内の野菜や加工品、手工芸品等の委託販売も行う。 「地域の台所的空間にしよう」を合い言葉に地場産品を提供し、好評を得ている。 豚丼（中札内産豚肉使用）、いも団子やかぼちゃ団子はその場でも味わうことができる。
ひまわりグループ	大樹町	20年前から自分たちでハスカップ栽培を始め、手作りハスカップジャムを15～16年間も作り続け販売している。 手作りジャムは、大樹町道の駅（コスモール大樹）やイベント等で販売している。
ほほえみ工房	池田町	池田町特産のヤーコンや採れたての野菜を使ってサワー漬・醤油漬・ワイン漬・みそ漬など漬物を作り販売している。 人と交流することを楽しみに活動中である。
本別発豆ではりきる 母さんの会	本別町	日本一の豆の町、本別町の安心な食材を使い「味噌」、「豆腐」、「ようかん」など特産品の加工販売をしている。 町内はもとより町外のファンも多い。